

まちと学校のみらい フォーラム 2021

Zoom開催(会費制)



学校が多様性のある 「チーム」になり、動くには

日時: 2021年12月28日(火)

18:30~20:30 (オンライントークセッション)

オプション: 交流会(Zoom飲み会) 20:30~21:30

コロナ危機のなか、前例通りにはいかず、先行きが不透明ななかでの教育活動の模索が続いています。「ソーシャル・ディスタンス」をとることが当たり前になり、ともすれば、学校のなか(教職員のあいだ)でも、保護者・地域と学校とのあいだでも、コミュニケーションや対話は減っているのではないのでしょうか。

しかし、正解が何か分からない危機のときだからこそ、さまざまな視点や知見、アイデアを持ち寄る必要性は高くなっているはず。学校が内外の人々と多様性のある「チーム」になり、前向きに挑戦していけるようになるには、なにが大切か、深めます。

<プログラム(予定)>

□ トークセッション

「機能するチームは何かちがうのか」、「コロナ危機を生徒のリーダーシップを高めるチャンスにどう変えるか」、「校長の熱意や思いつきだけでなく、教職員や地域のアイデアをどう掛け合わせていくか」などをテーマに語ります

□ 参加者によるミニ・アクションプランニング

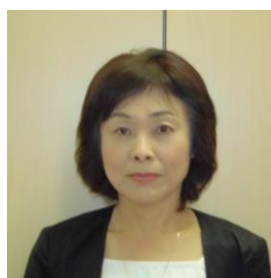
<お申し込み、プログラム等の詳細はPeatixのサイトに>

主催: 特定非営利活動法人まちと学校のみらい info@npofocas.org

共催: 一般財団法人日本青年館「社会教育」編集部



中原淳
立教大学教授



小林真由美
福井市立至民中学校校長



竹原和泉
NPOまちと学校のみらい代表理事



妹尾昌俊
教育研究家